

造形・美術フォーラム 2024

「ヒトはなぜ絵を描くのか： 表現の原点について考える」

齋藤 亜矢氏



齋藤 亜矢氏は、京都芸術大学文明哲学研究所で芸術認知科学を専門分野として研究されています。研究の内容は、チンパンジーと人の描画研究をはじめ、認知科学から芸術にアプローチし、芸術を生み出す心の基盤を明らかにすることであり、私たち造形、美術に関わる者たちにとって大変興味深い内容です。今回は、齋藤氏から「ヒトはなぜ絵を描くのか：表現の原点について考える」と題しましてご講演いただきます。これからの造形、美術について考えていきましょう。

日 時 : 2024年9月1日(日)13:00~15:00 (会場受付 12:30 zoom入室開始 12:45)

参加費 : 無料

募集人数 : 100名(対面及びオンライン)

実施方法 : 対面および Zoom によるオンライン開催

申し込み期限 : 2024年8月29日(木)

問い合わせ先 okada-k@tokyo-kasei.ac.jp (岡田まで)

*対面では書籍の販売がある予定です。

申込方法 : Peatix :

<https://peatix.com/event/4091076>

※上記 URL または右 QR コードよりお申し込みください。
お申し込みには Peatix のアカウントが必要になります。



齋藤亜矢 氏

京都芸術大学 文明哲学研究所

京都大学理学部卒業、同大学院医学研究科修士課程修了、東京芸術大学大学院美術研究科修了。博士(美術)。日本学術振興会特別研究員、京都大学野生動物研究センター特定助教、中部学院大学准教授などを経て、2016年度より現職。芸術する心がなぜ生まれたのか、進化や発達の見点からアプローチしている。著書に『ヒトはなぜ絵を描くのか—芸術認知科学への招待』(岩波書店)、『ルビンのツポ—芸術する体と心』(岩波書店)など。

<対面会場>

明治学院大学 白金キャンパス 本館 1201 教室

